

子どもの早起きをすすめる会主催 オンラインシンポジウム

# 「ネット依存から 子どもたちを守るために」

～知っておきたいリスクと対策～

参加方法: オンラインシンポジウム(ライブ配信)

日時: 2020年10月18日(日)

開演: 13:30 終演: 16:30(予定)

参加費: 2000円



## ≪講演内容≫

### ■講演(1)「過度のインターネット利用が子ども達の脳発達を阻害する」

講師: 東北大学加齢医学研究所 所長/

東北大学スマート・エイジング学際重点研究センター センター長 川島隆太氏

### ■講演(2)「ネット・ゲーム依存症と睡眠」

講師: 旭山病院 中山秀紀氏

### ■症例報告

講師: 瀬川記念小児神経学クリニック 理事長/

子どもの早起きをすすめる会発起人 星野恭子氏

### ■総合討論

川島隆太氏、中山秀紀氏、星野恭子氏、

神山潤氏(東京ベイ・浦安市川医療センター 管理者/子どもの早起きをすすめる会発起人)、

鈴木みゆき氏(独立行政法人 国立青少年教育振興機構 理事長/

子どもの早起きをすすめる会発起人)、

福水道郎氏(瀬川記念小児神経学クリニック 医師)

★参加登録は子どもの早起きをすすめる会 ホームページで

<http://www.hayaoki.jp/>

★お問い合わせはメールで [hayaoki.contact@gmail.com](mailto:hayaoki.contact@gmail.com)

## 《講演内容》

### ■講演(1)「過度のインターネット利用が子ども達の脳発達を阻害する」

講師：東北大学加齢医学研究所 所長 川島隆太氏

「新型コロナウイルスの影響で、子ども達の日常生活を取り巻く環境が激変しました。新型コロナウイルスと共存しないといけない新しい社会だからこそ、子ども達の未来を守るために意識しておかなくてはならないことがあります。早寝、早起き、朝ごはんの基本的な生活習慣を乱してはいけません。子ども達の心身の発達に取り返しのつかない悪影響が出ます。インターネットを介した学習機会が増えたとしても、学習以外の目的で子ども達に自由にインターネットを利用させるべきではありません。1日1時間以上のインターネット利用で子ども達の脳発達が遅延することが科学で証明されています。」

### ■講演(2)「ネット・ゲーム依存症と睡眠」

講師：旭山病院 中山秀紀氏

1990年代後半より急速に一般に普及したインターネットは、我々の生活に多大な利便性をもたらし、最近の新型コロナウイルス流行による在宅学習などの必要性から、ますます必要不可欠になっています。また電子ゲームも、青少年世代の代表的な娯楽の一つになっています。しかし青少年世代を中心にインターネットやゲーム依存的な使用も問題となっており、特に睡眠問題との関連は深刻です。本シンポジウムではインターネットやゲームの依存的使用の問題点やその対処について論じたいと思っています。世代を中心にインターネットやゲーム依存的な使用も問題となっており、特に睡眠問題との関連は深刻です。本シンポジウムではインターネットやゲームの依存的使用の問題点やその対処について論じたいと思っています。

### ■症例報告

講師：瀬川記念小児神経学クリニック 理事長／子どもの早起きをすすめる会発起人  
星野恭子氏

発達や睡眠の相談を主訴に来院される子どもたちの中に、少なからずゲーム障害がみられます。衝動性や社会性の問題がゲーム障害に大きく影響をし、寝る時間が遅くなり、保護者の制御は効きません。どこから治していけばいいのか、本当に悩む日々です。私の最初のステップは、保護者と昼間一緒に遊ぶこと、たとえそれがゲームセンターでも、です。当日は、臨床の現場をお話したいと思います。